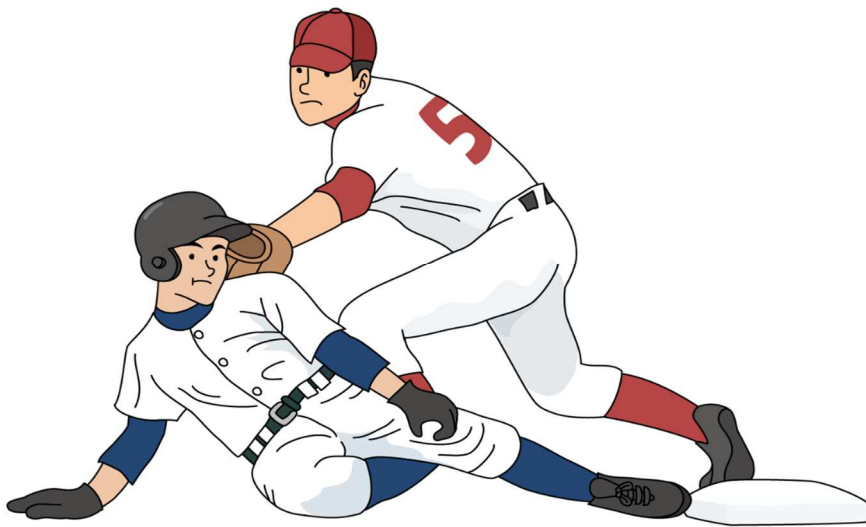


大会実施要項

=====

東京都城北少年野球大会



主催 東京都城北少年野球協会

後援 東京新聞

協賛 チャイルドスター S P

【2026 年度】

大会役員

名 誉 会 長	太田 昭宏			
名 誉 副 会 長	大松 成			
相 談 役	石井 健嗣	市原 正男		
顧 問	薄井 浩一	宮瀬 栄治	茂野 善之	
	青木 博子	間中 倫平		
会 長	神戸 信			
副 会 長	安藤 泰之			
理 事 長	下山 進			
大会運営委員長	安藤 泰之			
大会運営副委員長	下山 進			
事 務 局 長	岡安 慶太			
事 務 局 次 長	丸山 拓	工藤 亮輔		
広 報 部 長	近岡 賢二			
広 報 副 部 長	秋山 賢司			
審 判 部 長	安藤 泰之			
副 審 判 部 長	土田 一夫	中村 大二	小川 智洋	
	岡安 慶太			
審 判 部	伊藤 宣紀	川岡 竜介	丸山 拓	
	工藤 亮輔	木村 悟	大貫 悟	
	浅野 太一	角谷 幸司	石井 祥一	
事 務 局	下山 喜夜子	福士 きよ子	秋山 理恵	
	小森 由紀子			
会 計 監 査 護	神戸 信			
会 計 監 査 護	福士 きよ子			
救 護	福士 きよ子			

東京都城北少年野球協会会則

第1条（名称）

本会は「東京都城北少年野球協会」と称する。

第2条（目的）

本会は城北地域（北区・豊島区・板橋区・文京区・足立区・目黒区・渋谷区・世田谷区・練馬区・新宿区・中野区・杉並区・墨田区・江東区・荒川区・台東区・葛飾区・埼玉県）の交流を促進し、スポーツを通じて少年・少女の体位の向上を図ると共にルールを守り規律ある団体行動をとることによって社会の良き一員として責任を重んじる。少年・少女の育成を目的とする。

第3条（役員）

本大会には以下の役員を置く。役員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

会長・副会長・大会運営委員長・大会運営委員長・理事長・副理事長・事務局長・事務局次長・事務局・広報部長・審判部長・副審判部長・審判部・会計・会計監査・救護。

第4条（常任理事）

常任理事は各チーム代表者とする。

第5条（会計）

- ① 本会の会計年度は毎年1月1日より12月31日までとする。
- ② 本会の会計は会費、寄付及びその他の収支をもってあてる。
- ③ 一大会参加費は1チーム9,000円とする。

第6条（大会・運営）

大会は、年2回とする。（秋季・春季）

第8条（事務所）

本会の事務所は会長宅に置く。

神戸 信 東京都板橋区小豆沢 2-4-8-510

第9条（大会出場規程）

選手が他のチームに移動した場合、原則として1年間出場は出来ないとする。

東京都城北少年野球大会実施要項 (2026 年 1 月改訂)

〔１〕趣旨

本大会は、東京都の指導を仰ぎ各地域（北区・豊島区・板橋区・文京区・足立区・目黒区・渋谷区・世田谷区・練馬区・新宿区・中野区・杉並区・墨田区・江東区・荒川区・台東区・葛飾区・埼玉県）の交流を促進し、スポーツを通じて少年・少女の体位向上を図るとともに、ルールを守り、規律ある団体行動を促すことによって、社会の良き一員として責任を重んじる少年・少女の育成を目的に実施する。

〔２〕主催

東京都城北少年野球協会

〔３〕大会本部

大会本部は会長宅に置く。

会長 神戸 信 東京都板橋区小豆沢 2-4-8-510 電話 090-4937-3080

〔４〕参加資格

小学生 6・5・4 年生にて編成すること。

但し 2・3 年生の参加はチームの責任に於いて原則認める。

〔５〕競技進行上の規約

(ア) 大会はトーナメント戦とする

(イ) 試合は 6 回戦・試合時間は 75 分とする。(時間優先)

(尚、試合開始時間は主審がプレーボールを宣告した時とする)

(ウ) 試合時間は 70 分を過ぎると新しいイニングには入らない。但し、勝ち逃げなし。

(エ) 決勝戦は 6 回戦で試合時間は無制限とする。

(オ) 延長戦は次の通りとする。

6 回を完了して同点の場合または 80 分過ぎて同点の場合はタイブレーク方式を行う（継続打者一死満塁）。延長 2 回を完了して決着がつかない時は。○×の抽選で勝敗を決定する。

(カ) 第一試合の開始時刻は原則 08 時 30 分とする。

(キ) ベスト 8 以降より、ダブルヘッダーの組み合わせをする場合がある。

〔６〕塁間および投手と本塁間の距離

・ 塁間：23 メートル ・ 投手板と本塁：16 メートル

〔７〕選手登録と出場選手の注意事項

選手は名前と学年および背番号を指定の登録票にて提出し、試合はユニフォームと帽子を着用すること。(ジャージも可)

〔 8 〕 集合とメンバー表の提出

試合開始予定時間の 30 分前に集合し、メンバー表・その他手続きを終えること。

監督またはコーチが前試合審判をしている場合は、代表・他のコーチ・スコアラーが提出する。

〔 9 〕 コールドゲームについて

3 回終了後、均等回の得点に 10 点差がついた時。また 4 回以降は 7 点差とする。

※決勝戦も適用する。

※1 イニング守備時間が 20 分以上経過した場合、球審は両監督と相談し攻守交代を決定する。

〔 1 0 〕 日没または雨天の場合

試合成立は 4 回とする。(3 回以下の場合は再試合として審判が決定する)

〔 1 1 〕 ヒットバイピッチ（デッドボール）は採用する。

〔 1 2 〕 投手のボークは採用する。(正しく指導する)

〔 1 3 〕 金属スパイクは全面禁止とする。

〔 1 4 〕 大会使用球は軟式 J 球とし、当協会で用意する。

〔 1 5 〕 金属バットの使用は公認（JSBB）のみとする。

〔 1 6 〕 捕手はプロテクター・レガース・ファウルカップを着用すること。

〔 1 7 〕 ヘルメットは必ず着用すること。

〔 1 8 〕 ベンチは若い番号を一塁側とする。

〔 1 9 〕 コーチボックスは、必ず登録選手が入ること。(ヘルメット着用)

〔 2 0 〕 先攻・後攻は主将のジャンケンで決める。

〔 2 1 〕 投手は 6 イニング 7 0 球に制限する。(投球数は各チームにてカウントを申告)

〔 2 2 〕 ベンチに入る指導者等について

ベンチに入る指導者は、代表・監督・コーチ（3 名以内）・スコアラー（1 名）の計 6 名以内。

（監督・コーチはユニフォーム着用。代表・スコアラーはチームキャップ着帽のこと）

〔２３〕ファールボールの処理

ファールボールの処理は、右方向は一塁側、左方向は三塁側、バックネット方向は攻撃側の登録選手が処理すること。

〔２４〕ファウルエリアのボールデッドのテイク

投球がボールデッドラインを出た場合はテイクワンとし、送球の場合はすべてテイクツーとする。

〔２５〕準備投球時の諸注意について

- ・準備投球は原則、試合開始時：７球、投手交代時：５球、イニング交代時：３球とする。

但し、球審のワンモアピッチコールまでの準備投球数は、上記の球数に限らない。

（球審のプレイコールに時間を要する場合などの処置として）

- ・準備投球時に出場捕手が準備をしている間、控え捕手が投球練習を受ける。

（マスク・レガース・プレテクター着用のこと）

- ・控え捕手が準備できていない場合は、守備側の三塁手がマスクを着用し準備投球を受ける。

（スムーズな試合進行にご協力願います。監督・コーチの捕手は選手主導の見地から禁止です）

- ・攻撃側チームは、準備投球に合わせてベンチ内外でスイングをしない。（相手選手へのマナー）

- ・準備投球時に次打者は、ネクストバッターサークル内で待機すること。

（相手選手へのマナーとして、バッターボックス付近に立たないこと）

〔２６〕アピールは、監督・主将および当該選手のみとする。

但し、ジャッジメントについては認めない。

〔２７〕タイムの要求

監督・コーチがベンチ内から要求し、速やかな指示をすること。（遅延行為にならないように注意）

〔２８〕グラウンドルール

試合グラウンドによる特別ルールが設けられた場合は、審判員の権限で処理する。

（両チーム監督に報告すること）

〔２９〕スポーツマン精神に反する行為の禁止。

試合中の大声での暴言・ヤジ・スポーツマン精神に反する行為や行動は禁止します。審判団の注意を聞かないときは、退場させる場合もあります。

【注意事項】（本部役員より注意する場合があります）

- ・ベンチ外の関係者からの選手への指示・誘導行為は禁止事項です。
- ・投手が投球の準備動作時に投手に不利になる発声、牽制時にミスを誘導する発声は禁止事項です。
- ・当該試合チーム関係者の試合中のバックネット裏からの観戦は禁止事項です。

〔30〕試合中の写真・動画撮影の注意事項

バックネット裏からの撮影は禁止です。（特にネットや支柱へのカメラ装着はしないこと）
ベンチ内からの撮影は禁止です。（ベンチ内からスマホ・カメラ撮影はしないこと）
グラウンドエリア内（ファウルゾーン含む）での指定業者以外の立ち入り撮影は禁止です。
（相手チームへのマナーおよび試合進行の妨げにならない様、ご注意ください）

〔31〕その他のルール

当該年度の軟式公認野球規則を適用する。

〔その他の注意事項〕

- ※審判員は協会帽・審判服またはジャージー（黒/紺）とし、野球ユニフォームは禁止します。
- ※球審は必ず球審用マスクを装着し、協会帽子を後ろにかぶらないこと。
- ※審判員は当該試合開始 30 分前に集合し、ルール等についてミーティングを行う。
- ※本大会は、東京都教育委員会と東京新聞社の後援とチャイルドスターSP 社の協賛をいただいています。
- ※本大会は、唯一他地域のチームと対戦ができることと、特に選手・指導者・観戦者の方々に敬意を払い、スポーツマンシップに則ったマナー重視の大会を目指しております。

今後とも、各チームの皆様方のご協力をいただきながら運営してまいります。何卒よろしくお願いいたします。

〔補足として〕《審判についてのお願い》

- ・各チームより審判員 2 名を選出し、試合会場に到着次第本部までお申し出ください。
- ・若い番号のチームで「球審・二塁審」を行い、
後ろ番号のチームで「一塁審・三塁審」をお願いいたします。

【例 1】

- ・第一試合⇒第二試合のチームで前審判を行う。
- ・第二試合⇒第一試合のチームで後審判を行う。
- ・第三試合⇒第四試合のチームで前審判を行う。
- ・第四試合⇒第三試合のチームで後審判を行う。
- ・第五試合⇒第四試合の勝者と大会本部で協議の上で審判を行う。

【例 2】（一試合若しくは、前後の試合が組めない場合）

- ・大会役員（審判部）が球審を行う。
- ・一塁側チームで三塁審判・得点係を行う。
- ・三塁側チームで一塁審判・二塁審判を行う。

※審判員は協会帽・審判服またはジャージー（黒/紺）とします。

東京都城北少年野球協会

役員一同

（2026 年 1 月改訂）

大会運営上の規約

- 〔１〕 各チームともに会場の行き帰りは必ず引率者（成人）の同伴を受けること。
- 〔２〕 チーム引率車の駐車券配布は１チーム５台まで（戸田橋野球場のみ）
- 〔３〕 万一不慮の事故が起きた場合、当協会は一切の責任は負いません。
- 〔４〕 開会式は原則として行いません。
- 〔５〕 閉会式は最終日の出場チームで実施します。
- 〔６〕 雨天の場合は必ず各チームの責任者より連絡を取ること。

★雨天の場合

午前７時に決定します。

連絡先：事務局長：岡安 慶太

F A X：03-5994-3037

協会：070-5585-2808